

公益財団法人小倉百人一首文化財団 平成30年度 事業計画（案）

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

1. 博物館の管理運営

（目的効果）

百人一首に関わりの深い嵐山・嵯峨野に位置する登録博物館「時雨殿」改め「嵯峨嵐山文華館」において、百人一首並びに日本画を中心とする美術品その他の文化財の展示会をはじめ、資料収集、調査研究の実施等により、我が国文化の普及・啓発と振興・発展を図る。

（事業内容）

- （1）外構・展示室の改装
- （2）リニューアル後の百人一首に関する常設展の企画立案・実施
- （3）リニューアル後の企画展の企画立案・実施
- （4）百人一首並びに日本美術に関する資料および関連情報等の収集
- （5）百人一首並びに日本美術に関する調査研究

（実施方法）

設計、建築、設備、造園、ミュージアムショップ運営等の専門家と連携し、最小限のコストで最大の集客力向上を実現できるような改装案の策定及び改装工事を実施する。

並行して、地域内外の博物館、大学、研究機関、寺社仏閣、企業、団体等と連携し、集客力のある企画立案、またそれに必要な資料収集及び調査研究を行う。外国人観光客への対応も併せて強化する。

2. 芸術・文化催事の開催

（目的効果）

百人一首や日本美術をテーマとした催事等を開催することにより、芸術文化についての理解増進に資する。

（事業内容）

- （1）リニューアル後の常設展・企画展と連動し、多様な切り口で芸術・文化催事等の企画を立案する。
- （2）全日本かるた協会と連携し、より多くの観客を取り込むことが出来るような新しいかるた競技会の開催企画を行う。

（実施方法）

国内外を問わずより多くの方々に百人一首並びに日本美術を知って頂くため、有識者、地域内外の寺社仏閣、関係施設等と連携し、集客力のある講演会やセミナー、イベントを実施する。

3. 地域の観光文化資源の紹介、地域支援

(目的効果)

嵐山・嵯峨野の交通至便地に位置する「嵯峨嵐山文華館」において、地域の観光文化資源の紹介・案内を行うとともに、地域の観光・文化関連の行催事の支援等を行うことにより、我が国文化の普及・啓発と地域の振興・発展を図る。

(事業内容)

- (1) 地域の観光・文化行催事の支援
- (2) 館内での地域の観光文化資源案内

(実施方法)

地域と連携してイベントを実施することなどを通して、地域の観光振興並びに文化行催事の支援を行う。

4. 日本文化に関する情報・地域の観光情報の広報

(目的効果)

国内外を問わず、日本文化に関する情報や嵯峨嵐山地域の観光情報を提供し、我が国文化の普及・啓発を図る。

(事業内容)

- (1) リニューアル後のWebによるコミュニケーション企画
ホームページやソーシャルメディアを活用して、館の案内のみならず嵯峨嵐山地域のイベント情報や百人一首並びに日本美術に関する情報を国内外に発信する。
- (2) 小倉百人一首文化財団の事業案内の刷新検討並びに作成
財団の運営目的や活動状況、研究結果などを外国人観光客にもわかりやすく、内容の刷新を検討する。
- (3) 会員並びに関係機関への情報提供
再開時期が決まり次第、旧賛助会員並びに友の会会員をはじめ、教育機関、行政など広く関係機関へ財団の活動状況、各種情報提供を行う。

(実施方法)

ホームページやフェイスブック、ツイッターの刷新を企画、実施する。また新しくなった財団の運営目的や活動状況などに関する情報提供を行う。

5. 物品販売並びに飲食事業等収益事業の実施

(目的効果)

嵯峨嵐山文華館の公益目的事業の収支状況の改善に資するため、物品販売並びに飲食事業等の収益事業を実施する。

(事業内容)

- (1) 飲食事業の開始に向けた施設改修

(2) 百人一首並びに日本文化に関連した物品販売の企画・実施
(実施方法)

飲食事業の経営形態の検討、オリジナル商品や飲食メニューの企画開発等を実施し、リニューアル後のスムーズなオープンを実現することにより収益事業による収入増加を図る。

以 上